

国際法務戦略から見た法曹養成 —中国・韓国に後れる日本—

2019年のLAW 未来の会シンポジウム第1弾は、
中国と韓国から法曹養成に関わる著名な研究者お二人をお迎えし、
国際法務戦略の観点から、両国と日本の法曹養成制度を考えます！

(講師プロフィール)



韓大元 先生

中国人民大学法学院教授、中国憲法研究会会長、中国法学教育研究会常務副会長。

著作に、『1954年憲法制定過程』、『生命権の憲法論理』、『憲法学基礎理論』、『アジア立憲主義研究』、『法学教育の人文精神』、『中国憲法学説史研究』(上・下)、『基本権利と憲法判例』、『世界各国憲法』(全4巻)等がある。



金昌祿 先生

慶北大学法学専門大学院教授、韓国法史学会会長、法学専門大学院教授協議会共同代表。

著作に、『로스쿨을 주장하다—한국 로스쿨 탄생의 기록 (로스쿨を謳う—韓国ロースクール誕生の記録)』、『한국 로스쿨의 의의와 과제 (韓国ロースクールの意義と課題)』、『韓国司法における歴史と法—2012年大法院判決を中心に』、『「慰安婦」問題と未来への責任』、『韓日請求権協定—解決されなかった「植民地支配責任」』等がある。

日時	2019年1月11日(金)午後7時から9時
場所	日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ※裏面【アクセス】をご参照ください。
内容	韓大元先生、金昌祿先生による講演 当会理事の後藤昭、久保利英明、岡田和樹を交えたトークセッション等
定員	約200名 ※先着順となりますので、お早目にお申込みください。
主催	ロースクールと法曹の未来を創る会(代表:弁護士 久保利英明)
参加費	無料
問合せ先	ロースクールと法曹の未来を創る会(TEL 03-6256-9400 / FAX 03-6256-9401) (法律事務所フロンティア・ロー内 担当:弁護士 宮島 渉)
申込方法	次の要領で電子メールにてお申込みください。 ①件名に「1/11 参加希望」とご記入ください。 ②本文に「氏名」・「所属(肩書き)」をご記入ください。 ③送信先アドレス: info@lawyer-mirai.com

●激化する国際競争と法律事務所・弁護士

最近、ある経済誌で、「中国 VS 日本 50 番勝負」と題し、両国の企業の実力の徹底比較が特集されました。勝負の結果は、日本の「21 勝 28 敗 1 分け」でした。「意外に日本が善戦している」という感もありますが、勝っているのは、自動車など「旧産業」で、AI やフィンテック、情報技術産業など、最先端分野では、ほとんどが日本の負けでした。

この特集の対象は、民間企業だけでしたが、両国間の法律事務所と弁護士が比較されたらどうだったのでしょうか。結果は明らかです。「日本のボロ負け」です。中国には、世界 50 か国に支部・支所を有し、7000 人を超える弁護士を擁する法律事務所が存在し、国内外の事務所と合併していく動きも盛んです。人口が日本の半分以下の韓国でも、法曹一元を達成し、毎年約 1600 人が弁護士になっており、人口 1 人あたりの法曹の数は、日本の 2 倍以上となっています。

一方、日本では、「大手」の法律事務所といっても、弁護士数は 500 人程度、海外支店は、アジアに数か所というのが現状です。「弁護士業界」としてみても、司法試験合格者数は減り続け、ここ数年は、弁護士になるのは年間 1200 人程度です。

世界は、いまや「法務戦争」の感を呈しています。あらゆる企業活動が、条約、法律だけでなく、「倫理」や「人道」に反していないかという観点からも監視されています。大きな問題が起きれば、企業の存亡に関わる事態になります。確固たる法務戦略なくして企業の国際戦略は成り立たない時代になっているのです。それにもかかわらず、弱体な法律事務所と弁護士で、日本企業は厳しい国際競争に勝ち抜けるのでしょうか。

●中国・韓国に後れる日本

21 世紀に入ってからの日本の司法政策は混乱を続けてきました。「法曹人口の大幅増」を謳い、法科大学院制度を導入したにもかかわらず、「弁護士の就職先がない」などという根拠のない話をもとに、司法政策は、司法試験合格者を減らす方向に大きく転換しました。一時 2500 人に近づいていた合格者数が 1500 人にまで減らされ、多くの中小の法律事務所や企業、各種団体は、弁護士を採用できなくなっています。「弁護士の就職難」などという極めて国内的な事情（しかも確たる根拠もない）で司法政策を転換した日本に対し、お隣の中国と韓国は、まったく異なる政策をとっています。

本セミナーでは、中国・韓国の法制度に詳しい専門家をお招きし、それぞれの国の法曹養成を中心とする司法政策のあり方を解説いただき、今後、日本がどのような司法政策をとるべきかを考えます。どなたでも参加できますので、ご興味のある方は、是非ご参加ください。

【アクセス】日比谷図書文化館 地下 1 階 日比谷コンベンションホール（大ホール）

（東京都千代田区日比谷公園 1-4 / TEL 03-3502-3340）

- ・東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2 出口より徒歩約 3 分
- ・都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7 出口より徒歩約 3 分
- ・東京メトロ 千代田線「霞ヶ関駅」C4 出口より徒歩約 3 分
- ・JR「新橋駅」日比谷口より 徒歩約 10 分

